

## (1) 観光施策の戦略的推進

方向性	淀川舟運、天の川七夕伝説などの観光資源を生かしながら、市民が愛着を持ち、多くの人々が訪れたいと思える魅力的なまちづくりを進めるため、平成 29 年度に策定した観光施策に関する考え方にに基づき公民連携で役割分担をしながら、マーケティング手法を取り入れ観光施策を戦略的に進めます。
取り組み	戦略的に観光施策を展開するため、民間事業者をはじめとした幅広い関係者との意見交換の場を設置します。また、観光に関する基本データの収集を行うとともに、観光資源の効果的な発信を行うため観光冊子の作成などを行います。 ≪目標値≫ 定期利用者数を除いた市内主要駅の乗降客数の増加：年間約 8 千人増 平成 30 年度当初予算：9,400 千円

9 月末の  
進捗状況  
【○】

5 月 8 日、9 月 25 日の両日に、商工会議所・金融・鉄道・文化観光協会など幅広い関係者との意見交換を行いました。また、観光に関する基本データについては、市内集客レジヤ施設 1 箇所ですべてデータを収集するとともに、観光冊子 5,000 部の作成・発行を行いました。

引き続き、幅広い関係者との意見交換を行い、基本データの収集を行うとともに、観光資源の効果的な発信を行うため、第 2 弾の観光冊子 10,000 部の 11 月発行を予定しています。

## (2) 住工共生環境対策支援事業の実施

方向性	「騒音等」を低減するための設備の導入等を行う主として製造業を営む中小企業者に対し、対象経費の 2 分の 1 の補助を行うことで、周辺住民との良好な関係を築き、企業が市内で継続して操業できるよう支援を行います。
取り組み	市内企業へ、広く事業の周知を行い、企業の転出防止・定着が図られるよう、操業環境を維持するための支援を行います。 平成 30 年度当初予算：5,000 千円

9 月末の  
進捗状況  
【○】

市ホームページと広報紙に制度案内を掲載するほか、関係団体にも出向き、制度の案内を行いました。活用件数は現在のところありません。

引き続き、市内企業へ広く事業周知が行えるよう、更なる制度周知の方法を検討・実施していきます。

### (3) 商店街等活性化促進事業のリニューアル

方向性	商店街等の活性化を図ることを目的とする商店街等活性化促進事業補助金について、商店街が新たな事業に取り組む際のスタートアップを支援するためメニューを変更・追加し、引き続き支援を行います。
取り組み	既存の事業メニューについては、補助対象経費等の基準を精査し、新たに「商店街共同活性化事業」と「空き店舗活用事業」を事業メニューに追加します。 《目標値》 補助金交付件数 27 件 平成 30 年度当初予算：23,600 千円

#### 9 月末の 進捗状況 【〇】

年度当初に補助対象経費等の基準を精査し、新たな事業メニューを追加するなど補助金制度を改正しました。新制度については、市ホームページと広報紙で周知するほか、関係団体にも直接案内しました。また、空き店舗の活用について、他市商店街の事例収集を行うほか、現状把握や情報発信、セミナーに対するニーズなど、商店街等と意見交換を行いました。

今後、これらの調査や収集した意見に基づき、空き店舗解消に向けたセミナーの開催や商店街が新たな事業として取り組む「モデル事業案の作成」などに向け、引き続き商店街への支援を進めます。

なお、現在の補助金交付決定件数は 41 件です

### (4) 地域資源を活かしたさらなる賑わいの創出

方向性	「七夕伝説」など本市の地域資源のさらなる情報発信に向けた取り組みを進めます。また、本年 6 月から施行される住宅宿泊事業法に基づく民泊事業について、地域資源を生かした「体験型民泊」の展開を図ります。	
取り組み	本市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることを市内外に PR するため、地域の様々なイベントで「七夕物語」のスポット映像を活用するとともに、新たにプロモーション DVD を制作するなど、さらなる情報発信に向けた取り組みを進めます。	本市の「体験型民泊」のモデルケースとして、東部地域における自然環境や農業環境を活用した「体験型農家民泊」を、地域との連携のもと展開を図ります。また、モデル創出後には、これまで市民などの協力のもと取り組んできた海外からの学生を受け入れるホームステイのノウハウ活用、商店街の空店舗活用など、他分野における民泊の展開を検討します。
	平成 30 年度当初予算：5,455 千円	

<p><b>9月末の 進捗状況 【○】</b></p>	<p>「七夕伝説ゆかりのまち」の発信については、7月7日開催予定の「ゆめのほしフェスタ」が台風の影響で中止となりましたが、「枚方オクトーバーフェスト2018」開催期間中に、ミュージシャンの演奏とのコラボレーションにより「七夕物語」の映像を上映しました。引き続き、各種イベントや地域での上映に向け検討を進めています。</p> <p>また、「枚方・交野天の川ツーリズム推進協議会」において、枚方・交野における七夕関連のスポット紹介を盛り込んだ冊子を作成した他、新たな七夕コンテンツの創出や冬の七夕イベントの実施等の検討を行いました。</p> <p>「体験型農家民泊」については、東部地域における事業展開の可能性や体験型観光のコンテンツ創出について、調査・研究するとともに、10月に民泊に関する説明会を予定しています。</p>
-------------------------------------	--

(5) 農業振興の取り組み	
<p><b>方向性</b></p>	<p>農業者の高齢化や担い手不足から、新規就農者の確保と共にシルバー世代を含めた担い手の確保を図ります。また、地産地消を進め、農業者の営農意欲向上のため、農業者と商工業者のマッチングを図ります。災害発生時において、市民等の安全及び復旧活動のために、防災協力農地制度の導入を図ります。</p>
<p><b>取り組み</b></p>	<p>農業に関心のある定年退職者・離職している若者等を対象に担い手の確保に向けた体験型農園の実施に取り組みます。また、市内で生産された農産物を活用する商工業者と農業者のマッチングの場を設定します。防災協力農地制度については、実施に向けて要綱策定の準備を進めます。</p>

<p><b>9月末の 進捗状況 【○】</b></p>	<p>8月から、農業に親しんでもらうことを目的に「ちょっと本気の野菜づくり講座」と銘打ったパイロット事業を実施しています。今後、参加者共同の作業など仲間づくりにつながるメニューも予定しており、来年2月の講座終了後、グループでの就農を「新たな担い手の育成」につなげることについて検証する考えです。</p> <p>また、生涯学習市民センター2施設において、パイロット事業「フレッシュ野菜プチマルシェ」(朝市・夕市)の11月開催に向け準備を進めており、当該センターでの料理教室関係者と農業者とのマッチングについても検討を行っています。</p> <p>防災協力農地制度については、他市調査や実施に向けた検討を進めています。</p>
-------------------------------------	---

(6) (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備	
<p><b>方向性</b></p>	<p>まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術拠点施設として、(仮称)枚方市総合文化芸術センターの建設に着手し、平成33年の開館をめざします。</p> <p>また、平成31年度より実施するプレ事業やオープニング事業の企画検討を進め、施設の開館に向けた機運を高めます。</p>

<b>取り組み</b>	<p>9月定例会議に工事着工のための名称や位置など基本事項を示した設置条例案を提出するとともに、同施設に必要な備品の調査・検討を行います。また、公募による指定管理者制度の導入やメセナひらかた会館のアネックス化など、開館に向けた運営面での課題整理を進め、文化芸術団体との連携や文化芸術アドバイザーを新たに設置するなど、プレ事業やオープニング事業の充実に向けた具体的な企画検討を進めていきます。</p>
	平成30年度当初予算：1,982,700千円

<b>9月末の進捗状況【○】</b>	<p>9月定例会議に施設の名称や位置など基本事項を示した「枚方市総合文化芸術センター条例（案）」を提出しました。2021年の開館に向けて、備品、指定管理者制度の導入、メセナひらかた会館のアネックス化などの課題整理を進めています。</p> <p>ソフト事業面では、平成30年6月に大阪フィルハーモニー交響楽団と連携協定を締結し、平成31年3月10日に予定する連携記念演奏会を皮切りに、来年度からの連携事業について検討を進めています。</p> <p>また、平成30年7月に新たに設置した4人の文化芸術アドバイザーと、来年度から展開するプレ事業やオープニング事業の充実に向けた具体的な企画検討を進めています。</p>
--------------------	---

<b>(7) 生涯学習施設と図書館の複合施設の指定管理導入後の運営管理</b>	
<b>方向性</b>	<p>市民サービスの向上と効率的・効果的な運営をめざし、図書館との複合全6施設に指定管理者制度を導入しましたが、指定管理者が2事業者となったことから、事業者同士のノウハウの共有や切磋琢磨による相乗効果を施設運営に活かすため、市のマネジメントにより適正な管理運営を行います。</p>
<b>取り組み</b>	<p>効率的・効果的な取り組みについて施設間で共有化を図り、施設全体の展開につなげるため、月1回開催する所長会議や定期モニタリングのほか業務遂行確認を行うなど、各施設の運営状況や事業実施体制の確認に取り組みます。</p>
	平成30年度当初予算：362,504千円

<b>9月末の進捗状況【○】</b>	<p>月1回開催する所長会議のほか、着手状況を把握するために5月に業務遂行確認を行うなど、各施設の運営状況や事業実施体制の確認に取り組んでいます。</p>
--------------------	---